

2022年度入学生用 常磐大学 人間科学部 教育学科 初等教育コース 履修系統図(図形式)【ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーと各授業科目の対応関係】

建学の精神 実学を重んじ真摯な態度を身につけた人間を育てる。
 教育理念 自立・創造・真摯

学科の教育研究上の目的 (1)就学前教育の重要性を踏まえた初等教育の意義を理解し、人間のより良い成長および発達を支援するための基礎的な知識と実践力を身につけ、信頼される有為な資質および能力を備えた教員を養成する。
 (2)就学前教育および初等教育における理論ならびに実践の統合に向けた教育研究を行う。

教育課程の編成及び実施に関する方針 (教育課程編成・実施の方針、カリキュラム・ポリシー)		授業科目				卒業の認定に関する方針 (卒業認定・学位授与の方針、ディプロマ・ポリシー)	
		1年次	2年次	3年次	4年次		
(1)編成方針 学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)で掲げた人材養成の目的を達成するために、教育活動を担うにあたり必要となる基本的資質・素養、および高度専門職としての教育者に求められる力量の修得に向け、また幼稚園教諭一種免許状および小学校教諭一種免許状の取得要件を満たすためのカリキュラムを体系的に編成します。						教育活動を担うにあたり必要となる基本的資質・素養、および高度専門職としての教育者に求められる力量を身につけ、教育をめぐる現代的課題に対応し、実践的指導力をもって幼児・児童の成長を支援する公立・私立の幼稚園・小学校の教員や教育に関する十分な知識と技能により解決策を見出す自治体・民間機関等の職員等を養成します。	
(2)実施方針	1. 学部共通科目では、大学で学ぶための基本的知識と態度、技能を身につけるための教育を行います。	学びの技法Ⅰ 学びの技法Ⅱ 統計の基礎 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ キャリア形成と大学 社会調査入門 英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	英語Ⅳ 英語Ⅵ	人間科学概論		1. 教育活動に必要な社会人としての素養、および教育者としての素養を併せて習得している。(知識・理解・態度)	
	2. 学科共通科目等では、社会におけるさまざまな教育活動の担い手となることを見据え、「教育者への道Ⅰ・Ⅱ」「教育調査法実習」等の授業を通して、思考力や表現力を高める教育を行います。		教育者への道Ⅰ 教育者への道Ⅱ 発達心理学		教育調査法実習 生涯学習学概論 教育哲学	2. 幼児・児童の心身の発達、いじめの実際、教育相談、幼児・児童の指導、キャリア教育について理解し、公平かつ受容的・共感的な態度をもち、幼児・児童を理解し指導する力を身につけている。(知識・理解・態度)	
	3. 教育の基礎的理解に関する科目では、教育の基礎的な理解を身につけるとともに、幼児・児童への働きかけに必要な知識や技能を身につけるために、「教育学概論(初等)」「教職入門(初等)」等の授業を通して、アクティブ・ラーニングを取り入れた教育を行います。	教育学概論(初等) 教職入門(初等) 教育社会学(初等) 教育心理学(初等) カリキュラム論(初等) 幼児教育課程の意義と編成		学校と教育の歴史(初等) 教育経営論(初等)		3. 特別な配慮を必要とする幼児・児童を理解し支援する力を身につけている。(技能)	
	4. 道徳、総合的な学習の時間の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目等では、道徳教育・教育相談等に必要知識や技能を身につけるために、「総合的な学習の時間の指導法(初等)」「生徒指導・教育相談(初等)」等の授業を通して、多面的多角的な考察を取り入れた教育を行います。	教育方法学(初等) 幼児・児童の理解と指導	特別支援教育の理論と実践(初等) 道徳教育の理論と実践(初等) 総合的な学習の時間の指導法(初等)	特別活動論(初等) 生徒指導・教育相談(初等) 進路指導論(初等)		4. 幼稚園教育要領および学習指導要領の内容、授業を成立させるための要件、領域・教科の詳細等に関する専門的知識と共に、授業における学習課題、主体的・対話的で深い学び、ICTの活用等を理解し、道徳教育の基本も踏まえた実践的指導力を伴う授業力を身につけている。(知識・理解・技能)	
	5. 領域に関する専門的事項、教科に関する専門的事項では、各領域・教科の専門的な内容を学び、専門的な知識を身につけるために、「幼児とことば」「国語」等の授業を通して、問題解決・探求型の教育を行います。	国語 算数 生活 体育 音楽実技Ⅰ	幼児とことば 幼児と音楽(リトミック) 幼児と造形表現 社会 理科 家庭 初等外国語 音楽実技Ⅱ	書写・書道 図画工作	音楽理論	5. 学級経営を理解し、学年や学級を経営する力を身につけている。(思考・判断)	
	6. 保育内容の指導法、各教科の指導法等では、各領域・教科の専門的な知識を基盤として各領域・教科ごとの教え方を学び、実践的指導力を身につけるために、「保育内容指導法(言葉)」「初等国語科教育法」等の授業において、ICTの活用や模擬保育・模擬授業に重点を置いた教育を行います。		保育内容指導法(健康) 保育内容指導法(人間関係) 保育内容指導法(環境) 初等国語科教育法 初等社会科教育法 算数科教育法 初等理科教育法 生活科教育法 初等体育科教育法 図画工作科教育法 初等家庭科教育法 ICT教育の理論と方法(初等)	保育内容指導法(言葉) 保育内容指導法(造形表現) 保育内容指導法(音楽表現) 初等音楽科教育法 初等外国語教育法		6. 学校等の組織で協働や運営に主体的に関わり、安全管理を理解し、関係者の安心・安全を常に意識し対応する力を習得している。(思考・判断)	
	7. 教育実践に関する科目等では、実習園・実習校での教育実習を行うとともに、教員採用試験等に備えて教育に関する知識の定着を図るために、「幼稚園教育実習(事前事後指導を含む)」「小学校教育実習(事前事後指導を含む)」等の授業を通して、実際の教育現場で経験を積むことに重点を置いた教育を行います。	介護等の体験 学校インターンシップA	学校インターンシップB 学校インターンシップC	幼稚園教育実習(事前事後指導を含む) 小学校教育実習(事前事後指導を含む) 教職設計演習Ⅰ 教職設計演習Ⅱ 学級経営論 教育方法学演習 教育実践研究	教職実践演習(幼・小) 教職設計演習Ⅲ 幼稚園教育の実際	6. 学校等の組織で協働や運営に主体的に関わり、安全管理を理解し、関係者の安心・安全を常に意識し対応する力を習得している。(思考・判断)	
	8. 卒業研究のうち、「ゼミナールⅠ・Ⅱ」では、教育学の学びで身につけた資質・能力の有機的結合を深化させ、また「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」では、4年間の学びの集大成として、自分の専門領域に関する理解を深め、教育をめぐる現代的課題に対応する力を身につけるためにゼミナールに所属しゼミナール形式による教育を行います。			ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ	卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ		

学士の学位授与

授業科目の区分	カリキュラム分類コード	授業科目名	授業の方法	単位数・必修	学年	春	秋	サブタイトル/テーマ	授業科目の主題 (授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標 (到達目標)	学修の到達目標とディプロマ・ポリシーの関連(学修成果のために、●=特に強く求められる事項、◎=強く求められる事項、○=望ましい事項)			
											1.人文科学、社会科学、自然科学の諸領域にわたる広く深い教養と基礎的な知識を身につける。各学科の専門性および人間科学の枠組みで総合的に理解している。(知識・理解)	2.人間に関わる諸問題、とりわけ、心理や行動の発達、教育、社会や福祉、コミュニケーション、健康と栄養に関わる諸問題を発見し、批判的に考え、多面的な思考と分析による的確な判断を下すことができる。(思考・判断)	3.人間科学に基づく高い倫理観を持ち、自らの社会的責任を理解し、自らが率先して行動する態度を身につけている。(態度)	4.各学科の専門性に基づく高度な専門的知識と応用・実践能力を修得し、課題解決のための具体的方策を提示し、これを実行できる技能を身につけており、それによって社会に貢献することができる。(知識・理解、思考・判断、技能)
学部共通科目	HMS-101	社会調査入門	講義	2	1		○		広い視野から人間や人間社会に関する理解の基礎を修得するためのひとつの科目として、社会調査入門が位置づけられている(カリキュラム・ポリシー①)。この授業では、人間社会を実証的に研究するための方法としての社会調査法の基礎を学ぶ。前半部分では、社会調査とは何か、その意義、問いをたて調査を実施するまでのプロセスについて学ぶ。後半部分では、社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形にまで整理していく具体的な方法を学ぶ。	(1)社会調査の基礎用語を理解し、調査の流れを説明できる(知識・理解)。 (2)調査倫理を遵守する態度を有している(態度)。 (3)調査を設計し、実施する際の留意点を説明できる(知識・理解)。	●		◎	
	HMS-201	人間科学概論	講義	2	3		○		広い視野から人間や人間社会に関する理解の基礎を修得するための科目である(カリキュラム・ポリシー①)。「人間」とは何か、という根本問題を探究している諸学問研究の成果を、学部3年次において再度とらえなおし、「人間科学」の形成過程とその学問的位置づけを考察する。また、履修学生相互の学びを通して、「人間観」「人間と科学技術」「人間集団」等をめぐる理解を深める。	(1)「人間性」を主題とする諸学問分野の理解に基づき、人間科学の学問的位置づけを説明できる(知識・理解)。 (2)異なる「人間像」を偏りなく理解し、説明できる(知識・理解)。 (3)人間や人間社会に関する課題について、多面的に考えようとする態度を有している(態度)。	●		◎	

授業科目の区分	カリキュラム分類コード	授業科目名	授業の方法	単位数・必修	単位選択	学年	春	秋	サバタイトル/テーマ	授業科目の主題 (授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標 (到達目標)	1.教育活動に必要な社会人としての素養、および教育者としての素養を併せて習得している。(知識・理解、態度)	2.幼児・児童の心身の発達、いじめの実際、教育相談、幼児・児童の指導、キャリア教育について理解し、公平かつ受容的・共感的な態度をもち、幼児・児童を理解し指導する力を身につけている。(知識・理解、態度)	3.特別な配慮を必要とする幼児・児童を理解し支援する力を身につけている。(技能)	4.幼稚園教育要領および学習指導要領の内容、授業を成立させるための要件、領域・教科の詳細等に関する専門的知識と共に、授業における学習課題、主体的・対話的で深い学び、ICTの活用等を理解し、道徳教育の基本も踏まえた実践的指導力を伴う授業力を身につけている。(知識・理解、技能)	5.学級経営を理解し、学年や学級を運営する力を身につけている。(思考・判断)	6.学校等の組織で協働や運営に主体的に関わり、安全管理を理解し、関係者の安心・安全を常に意識し対応する力を習得している。(思考・判断)	
																		教育思想と教育言説の分析
基礎科目	EDC-241	教育者への道Ⅰ	演習	2		2		○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー2に基づく科目である。 教育学科の専任教員がオムニバス形式で、教育基礎分野および教科教育分野について学際的に講義するとともに、茨城県教育研修センター・茨城県教育委員会など学外機関との連携による講義などを行う。	(1)教育基礎分野および教科教育分野の基礎知識を学際的に結び付けて理解することができる。 (2)教育活動に必要な社会人としての基礎的素養および教育者としての基礎的素養を身につけている。	●						
	EDC-242	教育者への道Ⅱ	演習	2		2		○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー2に基づく科目である。 教育学科の専任教員がオムニバス形式で、教育内容分野および教育の最新動向について学際的に講義するとともに、茨城県教育研修センター・茨城県教育委員会など学外機関との連携による講義などを行う。	(1)教育内容分野および教育の最新動向の基礎知識を学際的に結び付けて理解することができる。 (2)教育活動に必要な社会人としての基礎的素養および教育者としての基礎的素養を身につけている。	●						
	EDC-231	発達心理学	講義			2	2			教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー2に基づく科目である。 認知機能の発達及び感情・社会性の発達、自己と他者の関係の在り方と心理的発達、誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達、発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方、高齢者の心理社会的課題及び必要な支援などについて講義する。	(1)認知機能、社会性、感情、思考と言語の発達に関する基礎的事項を理解できるようになる。 (2)人生の発達段階、すなわち乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老年期における心理と発達課題を理解できるようになる。 (3)定型発達と非定型発達に関する基礎的事項を理解できるようになる。	●						
	EDC-352	生涯学習学概論	講義			2	1		○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー2に基づく科目である。 社会の様々な場面で多様な学習者への学習支援に携わる上での基本的資質・素養を身につけるため、生涯学習の理念、社会教育の意義と展開、生涯学習社会の実現における学校・家庭・地域の役割分担と連携・協働のあり方について講義する。	(1)生涯学習の理念の歴史的・国際的動向について説明することができる。 (2)社会教育の意義と展開について説明することができる。 (3)生涯学習社会の実現のための学校・家庭・地域の役割分担と連携・協働のあり方について考察することができる。	●					
	EDC-351	教育哲学	講義			2	2		○	教育思想と教育言説の分析 教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー2に基づく科目である。 近年の教育思想を取上げ、その特質を解説するとともに、教育に関する様々な言説事例を取り上げ批判的に分析し、教育言説の課題および適切な教育言説作成の方法について講義する。	(1)現代の代表的な教育思想の特質を説明することができる。 (2)教師として適切な教育言説を作成することができる。	●						
	EDC-331	学級経営論	講義			2	2		○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー7に基づく科目である。 学級担任として身につけなければならない学級経営の知識・具体的な手法を講義するとともに、それらを実践的に深めるために担任として実際に直面する場面を想定して演習を行う。	(1)学級という組織や学級経営の目的などを理解することができる。 (2)学級経営を行う上での知識や方法について理解し、実践力を習得している。 (3)学級経営上必要な保護者・地域との良好な関係づくりの基礎を習得している。				●		
	EDC-111	介護等の体験	実習			2	1	2		○	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー7に基づく科目である。 義務教育を担うことになる小学校および中学校の教諭の普通免許状の取得希望者の必修科目として、1年次で事前指導を行い、2年次で特別支援学校・社会福祉施設等で体験を行う。	(1)特別支援学校および社会福祉施設等における介護等体験の意義や体験内容を理解し、認識を深めることができる。 (2)介護等体験を終えた後に自己の体験活動を振り返り、義務教育段階の学校教員を目指す上での自己の課題を適切にとらえることができる。					●	
	EDC-121	学校インターンシップA	実習			1	1			○	1年次秋 semester 用 教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー7に基づく科目である。 採用希望校種の幼稚園・小学校・中学校・高等学校における教育活動や部活動、学校事務などの学校における活動全般の基本的事項について、支援や補助業務を行うインターンシップおよびその事前事後指導を行う。インターンシップは1 semester 当たり計15時間以上実施する。	(1)採用希望校種の学校現場の実際について観察し理解することができる。 (2)これからの教員に求められる資質・能力を理解することができる。						●
	EDC-122	学校インターンシップB	実習			1	2			○	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー7に基づく科目である。 学校インターンシップAにおける知見をもとに、採用希望校種の幼稚園・小学校・中学校・高等学校における教育活動や部活動、学校事務などの学校における活動全般の具体的な事項について、支援や補助業務を行うインターンシップおよびその事前事後指導を行う。インターンシップは1 semester 当たり計15時間以上実施する。	(1)採用希望校種の学校現場の実際について実践的に理解することができる。 (2)学校教員としての実践的指導力の基礎的内容を習得している。						●
	EDC-123	学校インターンシップC	実習			1	2			○	2年次秋 semester 用 教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー7に基づく科目である。 学校インターンシップA・Bにおける知見をもとに、採用希望校種とは異なる校種の幼稚園・小学校・中学校・高等学校における教育活動や部活動、学校事務などの学校における活動全般の基本的および具体的な事項について、支援や補助業務を行うインターンシップおよびその事前事後指導を行う。インターンシップは1 semester 当たり計15時間以上実施する。	(1)採用希望校種以外の学校現場の実際について実践的に理解することができる。 (2)学校教員としての実践的指導力の具体的な内容を習得している。						●
応用科目	EDC-332	教育方法学演習	演習			2	2		○	「学習科学」とその実践的活用に向けて 教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー7に基づく科目である。 現代の教育方法学の基底にある「学習科学」の多様な知見および授業づくりへの実践的活用方法について講義するとともに、各自が関心のある「学習科学」の理論を取り上げた討論、授業づくり・教育方法に関する小論文作成の演習を行う。	(1)「学習科学」の諸理論を理解することができる。 (2)「学習科学」を踏まえた授業づくりの視点を理解することができる。 (3)授業づくり・教育方法について小論文を作成することができる。						●	
	EDC-333	教育実践研究	実習			2	3		○	「社会が変われば学校も変わる」ことについての理解を深めよう 教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー7に基づく科目である。 予測不可能なこれからの社会における課題の発見とそれを解決するための基盤となる知識、スキル、能力を身につける上で、学校で行われる人材育成はどのように変化していくのか検討する。	(1)学習指導要領の内容、授業を成立させるための要件と共に、授業における学習課題、主体的・対話的で深い学び、ICTの活用等を理解し、実践的指導力を伴う授業力を習得している。 (2)これからの学校のあり方について自分の考えを構築することができる。 (3)これからの学校のあり方についての自分の考えをプレゼンテーション等で適切に発表することができる。					◎	●	
	EDC-371	教育調査法実習	実習			2	3		○	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー2に基づく科目である。 教育調査に関する基礎的知識を理解し技能を習得するために、前半は質問紙調査法、後半は面接法を中心とするフィールドワークを行う。履修者自身が問題を設定し、調査を計画し、データを収集・分析し、報告する過程に実習形式で取り組む。	(1)教育に関する問題を認識し、問いの設定、調査の立案、実施、結果の分析、報告という一連の教育調査の過程を理解し、実践することができる。 (2)SPSSの基本的な操作方法を理解し、結果を出力することができる。 (3)地域や学校現場における教育課題を発見することができる。	●						

授業科目の区分	カリキュラム分類コード	授業科目名	授業の方法	単位数・必修	単位選択	学年	春	秋	サバタイトル/テーマ	授業科目の主題 (授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標 (到達目標)	1.教育活動に必要な社会人としての素養、および教育者としての素養を併せて習得している。(知識・理解、態度)	2.幼児・児童の心身の発達、いじめの実態、教育相談、幼児・児童の指導、キャリア教育について理解し、公平かつ受容的・共感的な態度をもち、幼児・児童を理解し指導する力を身につけている。(知識・理解、態度)	3.特別な配慮を必要とする幼児・児童を理解し支援する力を身につけている。(技能)	4.幼稚園教育要領および学習指導要領の内容、授業を成立させるための要件、領域・教科の詳細等に関する専門的知識、主体的・対話的で深い学び、ICTの活用等を理解し、道徳教育の基本も踏まえた実践的指導力を身につけている。(知識・理解、技能)	5.学級経営を理解し、学年や学級を運営する力を身につけている。(思考・判断)	6.学校等の組織で協働や運営に主体的に関わり、安全管理を常意識し、安全を常に意識し対応する力を習得している。(思考・判断)		
																		授業科目の区分	カリキュラム分類コード
目	EDC-361	教職設計演習Ⅰ	演習	2	3	○				教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー7に基づく科目である。学校教育に関する法令、学校における教育活動の実態、児童生徒理解の方法等の基礎的理解をもとに、課題に対するグループ討議やワークショップ等を行う。	(1)学校教育課題の現状と課題解決の方法、教員の身分的根拠等を理解することができる。 (2)教師の仕事について理解し、教師になるための心構えや意識の向上させることができる。						●	◎	
	EDC-362	教職設計演習Ⅱ	演習	2	3	○				教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー7に基づく科目である。教職に向けた実践的な個人面接や集団討議の方法、小論文の書き方のポイント等を習得するために、模擬面接、模擬集団討議、小論文の演習を行う。	(1)個人面接や集団討議の方法、小論文の書き方のポイント等を習得している。 (2)自身がこれから教師になるための課題を適切に理解することができる。						●	◎	
	EDC-363	教職設計演習Ⅲ	演習	2	4	○				教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー7に基づく科目である。一般教養や教職教養および今日的な教育課題の解決に関する知識・理解の定着を図るために、演習問題を中心としたより実践的な教員採用試験対策を行う。	(1)教員採用試験に向けて一般教養や教職教養に関する知識・理解を定着させることができる。 (2)教員採用試験に向けて今日的な教育課題を解決するための考え方や取り組みを表現することができる。						●	◎	
	EDE-112	教職入門(初等)	講義	2	1	○				教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー3に基づく科目である。現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について学び、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。	(1)教職の意義、我が国における今日の学校教育や教職の社会的意義を理解することができる。 (2)教員の役割、教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解することができる。 (3)教員の職務内容、教員の職務内容の全体像や教員に課せられる職務上・身分上の義務を理解することができる。 (4)チーム学校への対応、学校の担う役割が拡大・多様化する中で、学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について理解することができる。								
	EDE-111	教育学概論(初等)	講義	2	1	○				教育学の基礎と理論 教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー3に基づく科目である。教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたかを理解する。	(1)教育の基本的概念を身につけるとともに、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を理解することができる。 (2)教育の歴史に関する基礎的知識を身につけ、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解することができる。 (3)教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解することができる。								
	EDE-311	学校と教育の歴史(初等)	講義	2	3	○				教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー3に基づく科目である。「教育」と「学校」が成立、展開していく過程を、関連する制度の動向とともに理解し、それを通じて、学生自身の経験を省察し、多面的に考える視点を身につける。	(1)「教育」と「学校」が成立、展開していく過程を、その背景とともに的確に理解し、論理的に説明することができる。 (2)現代の「教育」や「学校」について、歴史的な省察を通じて多面的に思考し、自分の考えを他者に対して述べることができる。								
	EDE-114	教育心理学(初等)	講義	2	1	○				教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー3に基づく科目である。幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。	(1)幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程、幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程及び特徴を理解することができる。 (2)幼児、児童及び生徒の学習の過程、幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身につけ、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解することができる。								
	EDE-312	教育経営論(初等)	講義	2	2	○				公教育の法制度・行政・経営の仕組み 教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー3に基づく科目である。現代の学校教育に関する制度的、経営的事項について、基礎的な知識を身につけるとともに、それらに関連する課題を理解する。なお、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身につける。	(1)現代公教育制度の意義・原理・構造について、その法的・制度的仕組みに関する基礎的知識を身につけるとともに、そこに内在する課題を理解することができる。 (2)学校や教育行政機関の目的とその実現について、経営の観点から理解することができる。 (3)学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解することができる。								
	EDE-113	教育社会学(初等)	講義	2	1	○				教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー3に基づく科目である。現代の学校教育に関する社会的、制度的事項について、基礎的な知識を身につけるとともに、それらに関連する課題を理解する。なお、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身につける。	(1)社会の状況を理解し、その変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる課題、並びにそれらに対応するための教育政策の動向を理解することができる。 (2)現代公教育制度の意義・原理・構造について、その法的・制度的仕組みに関する基礎的知識を身につけるとともに、そこに内在する課題を理解することができる。 (3)学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解することができる。 (4)学校の管理下で起こる事件、事故及び災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取り組みを理解することができる。								
	EDE-211	特別支援教育の理論と実践(初等)	演習	2	2	○				教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー4に基づく科目である。通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身につけていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別的教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を習得する。	(1)特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解することができる。 (2)特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解することができる。 (3)障害はないが特別的教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の把握や支援、障害はないが特別的教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解することができる。								
	EDE-115	カリキュラム論(初等)	講義	2	1	○				カリキュラムの基礎論とカリキュラム編成 教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー3に基づく科目である。学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を学ぶとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。	(1)学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解することができる。 (2)教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解することができる。 (3)教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解することができる。								
	EDE-241	幼児とことば	講義	2	1	○				教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー5に基づく科目である。領域「言葉」の指導の基盤となる、幼が豊かな言葉や表現を身につけ、想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項に関する知識を身につける。	(1)人間にとっての言葉の意義や機能を理解することができる。 (2)言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解することができる。 (3)幼児にとっての児童文化財の意義を理解することができる。								

授業科目の区分	カリキュラム分類コード	授業科目名	授業の方法	単位数・必修	学年	春	秋	サブタイトル/テーマ	授業科目の主題 (授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標 (到達目標)	1.教育活動に必要な社会人としての素養、および教育者としての素養を併せて習得している。(知識・理解、態度)	2.幼児・児童の心身の発達、いじめの実際、教育相談、幼児・児童の指導、キャリア教育について理解し、公平かつ受容的・共感的な態度をもち、幼児・児童を理解し指導する力を身につけている。(知識・理解、態度)	3.特別な配慮を必要とする幼児・児童を理解し支援する力を身につけている。(技能)	4.幼稚園教育要領および学習指導要領の内容、授業を成立させるための要件、領域・教科の詳細等に関する専門的知識と共に、授業における学習課題、主体的・対話的で深い学び、ICTの活用等を理解し、道徳教育の基本も踏まえた実践的指導力を身につけている。(知識・理解、技能)	5.学級経営を理解し、学年や学級を運営する力を身につけている。(思考・判断)	6.学校等の組織で協働や運営に主体的に関わり、安全管理を理解し、関係者の安心・安全を常に意識し対応する力を習得している。(思考・判断)
	EDE-242	幼児と音楽(リトミック)	演習	2	1		○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー5に基づく科目である。 領域「表現」の指導のうち、特に音楽表現に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身につける。	(1)音楽による幼児の表現の姿や、その発達を理解することができる。 (2)音楽表現に重点を置いた様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにすることができる。				●		
	EDE-243	幼児と造形表現	演習	2	1		○	可能性を開く題材の研究	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー5に基づく科目である。 領域「表現」の指導のうち、特に造形表現に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身につける。	(1)造形による幼児の表現の姿や、その発達を理解することができる。 (2)造形表現に重点を置いた様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにすることができる。				●		
	EDE-265	初等外国語	演習	2	1		○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー5に基づく科目である。 小学校における外国語活動・外国語科の授業実践に必要な実践的な英語運用力と英語に関する背景的な知識を身につける。	(1)小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な実践的な英語運用力を、授業場面を意識しながら身につけている。 (2)小・中学校の接続も踏まえながら、小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な知識を身につける。				●		
	EDE-161	国語	講義	2	1		○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー5に基づく科目である。 小学校国語科を教える教員としての基本的な力量を修得するべく、本科目では特に、教科内容の背景にある専門的知識および技能を身につけることに重点を置く。小学校学習指導要領に示されている教科の内容構成とその系統性を理解するとともに、国語科の見方・考え方を身につけ、扱われる内容に関する専門的な理解を深める。また、卒業後も質の高い教材研究を行うための基本的姿勢として、専門的な知識等を生涯にわたって高め続ける習慣や態度を身につける。	(1)小学校国語科の授業を担当するために必要な教科の専門的知識や技能を身につけている。 (2)小学校国語科の学習内容とその系統性について説明できる。 (3)小学校国語科を担当する教師としての専門的力量を生徒にわたって高め続ける態度を身につけている。				●		
	EDE-361	書写・書道	演習	2	1		○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー5に基づく科目である。 小学校国語科書写を教える教員としての基本的な力量を修得するべく、本科目では特に、教科内容の背景にある専門的知識および技能を身につけることに重点を置く。小学校学習指導要領に示されている教科の内容構成とその系統性を理解するとともに、国語科の見方・考え方を身につけ、扱われる内容に関する専門的な理解を深める。また、卒業後も質の高い教材研究を行うための基本的姿勢として、専門的な知識等を生涯にわたって高め続ける習慣や態度を身につける。	(1)小学校国語科書写の授業を担当するために必要な教科の専門的知識や技能を身につけている。 (2)小学校国語科書写の学習内容とその系統性について説明できる。 (3)小学校国語科書写を担当する教師としての専門的力量を生徒にわたって高め続ける態度を身につけている。				●		
	EDE-261	社会	講義	2	1		○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー5に基づく科目である。 小学校社会科を教える教員としての基本的な力量を修得するべく、本科目では特に、教科内容の背景にある専門的知識および技能を身につけることに重点を置く。小学校学習指導要領に示されている教科の内容構成とその系統性を理解するとともに、社会科の見方・考え方を身につけ、扱われる内容に関する専門的な理解を深める。また、卒業後も質の高い教材研究を行うための基本的姿勢として、専門的な知識等を生涯にわたって高め続ける習慣や態度を身につける。	(1)小学校社会科の授業を担当するために必要な教科の専門的知識や技能を身につけている。 (2)小学校社会科の学習内容とその系統性について説明できる。 (3)小学校社会科を担当する教師としての専門的力量を生徒にわたって高め続ける態度を身につけている。				●		
	EDE-162	算数	講義	2	1		○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー5に基づく科目である。 小学校算数科を教える教員としての基本的な力量を修得するべく、本科目では特に、教科内容の背景にある専門的知識および技能を身につけることに重点を置く。小学校学習指導要領に示されている教科の内容構成とその系統性を理解するとともに、算数科の見方・考え方を身につけ、扱われる内容に関する専門的な理解を深める。また、卒業後も質の高い教材研究を行うための基本的姿勢として、専門的な知識等を生涯にわたって高め続ける習慣や態度を身につける。	(1)小学校算数科の授業を担当するために必要な教科の専門的知識や技能を身につけている。 (2)小学校算数科の学習内容とその系統性について説明できる。 (3)小学校算数科を担当する教師としての専門的力量を生徒にわたって高め続ける態度を身につけている。				●		
	EDE-262	理科	演習	2	1		○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー5に基づく科目である。 小学校理科を教える教員としての基本的な力量を修得するべく、本科目では特に、教科内容の背景にある専門的知識および技能を身につけることに重点を置く。小学校学習指導要領に示されている教科の内容構成とその系統性を理解するとともに、理科の見方・考え方を身につけ、扱われる内容に関する専門的な理解を深める。また、卒業後も質の高い教材研究を行うための基本的姿勢として、専門的な知識等を生涯にわたって高め続ける習慣や態度を身につける。	(1)小学校理科の授業を担当するために必要な教科の専門的知識や技能を身につけている。 (2)小学校理科の学習内容とその系統性について説明できる。 (3)小学校理科を担当する教師としての専門的力量を生徒にわたって高め続ける態度を身につけている。				●		
	EDE-163	生活	講義	2	1		○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー5に基づく科目である。 小学校生活科を教える教員としての基本的な力量を修得するべく、本科目では特に、教科内容の背景にある専門的知識および技能を身につけることに重点を置く。小学校学習指導要領に示されている教科の内容構成とその系統性を理解するとともに、生活科の見方・考え方を身につけ、扱われる内容に関する専門的な理解を深める。また、卒業後も質の高い教材研究を行うための基本的姿勢として、専門的な知識等を生涯にわたって高め続ける習慣や態度を身につける。	(1)小学校生活科の授業を担当するために必要な教科の専門的知識や技能を身につけている。 (2)小学校生活科の学習内容とその系統性について説明できる。 (3)小学校生活科を担当する教師としての専門的力量を生徒にわたって高め続ける態度を身につけている。				●		
	EDE-164	音楽実技 I	実技	2	1		○	ピアノの基礎技能と読譜力を身につける	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー5に基づく科目である。 小学校音楽科を教える教員としての基本的な力量を修得するべく、本科目では特に、教科内容の背景にある専門的知識および技能の基礎を身につけることに重点を置く。小学校学習指導要領に示されている教科の内容構成とその系統性を理解するとともに、音楽科の見方・考え方を身につけ、扱われる内容に関する専門的な理解を深める。また、卒業後も質の高い教材研究を行うための基本的姿勢として、専門的な知識等を生涯にわたって高め続ける習慣や態度を身につける。	(1)小学校音楽科の授業を担当するために必要な教科の専門的知識や基礎的な技能を身につけている。 (2)小学校音楽科の学習内容とその系統性について説明できる。 (3)小学校音楽科を担当する教師としての専門的力量を生徒にわたって高め続ける態度を身につけている。				●		

授業科目の区分	カリキュラム分類コード	授業科目名	授業の方法	単位数・必修	学年	秋	春	サ	サブタイトル/テーマ	授業科目の主題 (授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標 (到達目標)	1.教育活動に必要な社会人としての素養、および教育者としての素養を併せて習得している。(知識・理解、態度)	2.幼児・児童の心身の発達、いじめの実例、教育相談、幼児・児童の指導、キャリア教育について理解し、公平かつ受容的・共感的な態度をもち、幼児・児童を理解し指導する力を身につけている。(知識・理解、態度)	3.特別な配慮を必要とする幼児・児童を理解し支援する力を身につけている。(技能)	4.幼稚園教育要領および学習指導要領の内容、授業を成立させるための要件、領域・教科の詳細等に関する専門的知識と、主体的・対話的で深い学び、ICTの活用等を理解し、道徳教育の基本も踏まえた実践的指導力を身につけている。(知識・理解、技能)	5.学級経営を理解し、学年や学級を運営する力を身につけている。(思考・判断)	6.学校等の組織で協働や運営に主体的に関わり、安全管理を理解し、関係者の安心・安全を常に意識し対応する力を習得している。(思考・判断)		
																		実技	講義
初等教育コース科目 学科専攻科目	EDE-263	音楽実技Ⅱ	実技	2	1	○			音楽の基礎知識を身につける	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー5に基づく科目である。小学校音楽科を教える教員としての基本的な力量を修得するべく、本科目では特に、教科内容の背景にある専門的知識および技能を発展的に身につけることに重点を置く。小学校学習指導要領に示されている教科の内容構成とその系統性を理解するとともに、音楽科の見方・考え方を身につけ、扱われる内容に関する専門的な理解を深める。また、卒業後も質の高い教材研究を行うための基本的姿勢として、専門的な知識等を生涯にわたって高め続ける習慣や態度を身につける。	(1)小学校音楽科の授業を担当するために必要な教科の専門的知識や発展的な技能を身につけている。 (2)小学校音楽科の学習内容とその系統性について説明できる。 (3)小学校音楽科を担当する教師としての専門的知識を生徒にわたって高め続ける態度を身につけている。								
	EDE-362	音楽理論	講義	2	1	○			音楽の基礎知識を身につける	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー5に基づく科目である。小学校音楽科を教える教員としての基本的な力量を修得するべく、本科目では特に、教科内容の背景にある専門的知識および技能について理論的に理解することに重点を置く。小学校学習指導要領に示されている教科の内容構成とその系統性を理解するとともに、音楽科の見方・考え方を身につけ、扱われる内容に関する専門的な理解を深める。また、卒業後も質の高い教材研究を行うための基本的姿勢として、専門的な知識等を生涯にわたって高め続ける習慣や態度を身につける。	(1)小学校音楽科の授業を担当するために必要な音楽理論を理解し、説明できる。 (2)理論に基づき、音楽を楽譜に正しく表現できる。 (3)小学校音楽科を担当する教師としての専門的知識を生徒にわたって高め続ける態度を身につけている。								
	EDE-363	図画工作	演習	2	1	○			アートに親しみながら、図工の時間をデザインする	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー5に基づく科目である。小学校図画工作科を教える教員としての基本的な力量を修得するべく、本科目では特に、教科内容の背景にある専門的知識および技能を身につけることに重点を置く。小学校学習指導要領に示されている教科の内容構成とその系統性を理解するとともに、図画工作科の見方・考え方を身につけ、扱われる内容に関する専門的な理解を深める。また、卒業後も質の高い教材研究を行うための基本的姿勢として、専門的な知識等を生涯にわたって高め続ける習慣や態度を身につける。	(1)小学校図画工作科の授業を担当するために必要な教科の専門的知識や技能を身につけている。 (2)小学校図画工作科の学習内容とその系統性について説明できる。 (3)小学校図画工作科を担当する教師としての専門的知識を生徒にわたって高め続ける態度を身につけている。								
	EDE-264	家庭	演習	2	1	○				教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー5に基づく科目である。小学校家庭科を教える教員としての基本的な力量を修得するべく、本科目では特に、教科内容の背景にある専門的知識および技能を身につけることに重点を置く。小学校学習指導要領に示されている教科の内容構成とその系統性を理解するとともに、家庭科の見方・考え方を身につけ、扱われる内容に関する専門的な理解を深める。また、卒業後も質の高い教材研究を行うための基本的姿勢として、専門的な知識等を生涯にわたって高め続ける習慣や態度を身につける。	(1)小学校家庭科の授業を担当するために必要な教科の専門的知識や技能を身につけている。 (2)小学校家庭科の学習内容とその系統性について説明できる。 (3)小学校家庭科を担当する教師としての専門的知識を生徒にわたって高め続ける態度を身につけている。								
	EDE-165	体育	実技	2	1	○				教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー5に基づく科目である。小学校体育科を教える教員としての基本的な力量を修得するべく、本科目では特に、教科内容の背景にある専門的知識および技能を身につけることに重点を置く。小学校学習指導要領に示されている教科の内容構成とその系統性を理解するとともに、体育科の見方・考え方を身につけ、扱われる内容に関する専門的な理解を深める。また、卒業後も質の高い教材研究を行うための基本的姿勢として、専門的な知識等を生涯にわたって高め続ける習慣や態度を身につける。	(1)小学校体育科の授業を担当するために必要な教科の専門的知識や技能を身につけている。 (2)小学校体育科の学習内容とその系統性について説明できる。 (3)小学校体育科を担当する教師としての専門的知識を生徒にわたって高め続ける態度を身につけている。								
	EDE-116	幼児教育課程の意義と編成	講義	2	1	○			幼児教育・保育の基礎を理解する	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー3に基づく科目である。幼稚園教育要領を基準として各幼稚園等で編成される教育課程について、その意義や編成の方法を学ぶとともに、幼児の心身の発達と幼稚園及び地域の実態等に合わせた適切なカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。	(1)幼児教育課程の意義:幼児教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解することができる。 (2)幼児教育課程編成の基本原則及び幼稚園等の教育実践に即した幼児教育課程編成の方法を理解することができる。 (3)「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえつつ、幼児の心身の発達と幼稚園及び地域の実態等に合わせた幼児教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解することができる。								
	EDE-251	保育内容指導法(健康)	演習	2	2	○			保育内容「人間関係」を理解する	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。領域「健康」は、「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された領域「健康」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1)幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「健康」のねらい及び内容を理解することができる。 (2)幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「健康」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけている。								
	EDE-252	保育内容指導法(人間関係)	演習	2	2	○			保育内容「人間関係」を理解する	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。領域「人間関係」は、「他の人々と親しみ、支えあって生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1)幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解することができる。 (2)領域「人間関係」の指導方法及び保育の構想:幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけている。								
	EDE-253	保育内容指導法(環境)	演習	2	2	○			保育内容「人間関係」を理解する	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。領域「環境」は、「周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された領域「環境」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1)幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「環境」のねらい及び内容を理解することができる。 (2)幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。								
	EDE-351	保育内容指導法(言葉)	演習	2	2	○			保育内容「人間関係」を理解する	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。領域「言葉」は、「経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉に聞くことと意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された領域「言葉」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1)幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「言葉」のねらい及び内容を理解することができる。 (2)幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけている。								

授業科目の区分	カリキュラム分類コード	授業科目名	授業の方法	単位数・必修	学年	春	秋	サ	サブタイトル/テーマ	授業科目の主題 (授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標 (到達目標)	1.教育活動に必要な社会人としての素養、および教育者としての素養を併せて習得している。(知識・理解、態度)	2.幼児・児童の心身の発達、いじめの実態、教育相談、幼児・児童の指導、キャリア教育について理解し、公平かつ受容的・共感的な態度をもち、幼児・児童を理解し指導する力を身につけている。(知識・理解、態度)	3.特別な配慮を必要とする幼児・児童を理解し支援する力を身につけている。(技能)	4.幼稚園教育要領および学習指導要領の内容、授業を成立させるための要件、領域・教科の詳細等に関する専門的知識と共に関心、授業における学習課題、主体的・対話的で深い学び、ICTの活用等を理解し、道徳教育の基本も踏まえた実践的指導力を身につけている。(知識・理解、技能)	5.学級経営を理解し、学年や学級を運営する力を身につけている。(思考・判断)	6.学校等の組織で協働や連携に関わり、安全管理を理解し、関係者の安心・安全を常に意識し対応する力を習得している。(思考・判断)
	EDE-352	保育内容指導法(造形表現)	演習	2	2			○	造形表現の基礎知識と実践	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。 領域「表現」は、「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにすることを目指すものである。本科目では、造形による表現に重点を置き、幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された領域「表現」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1)幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、造形による表現を中心に、領域「表現」のねらい及び内容を理解することができる。 (2)幼児の発達や学びの過程を理解し、造形による表現を中心に、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけている。				●		
	EDE-353	保育内容指導法(音楽表現)	演習	2	2			○	幼児の発達に合わせた音楽の提案と表現の理解	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。 領域「表現」は、「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにすることを目指すものである。本科目では、音楽による表現に重点を置き、幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された領域「表現」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1)幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、音楽による表現を中心に、領域「表現」のねらい及び内容を理解することができる。 (2)幼児の発達や学びの過程を理解し、音楽による表現を中心に、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけている。				●		
	EDE-122	幼児・児童の理解と指導	講義	2	1			○	子どもへの関わり方を学ぶ	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー4に基づく科目である。 幼児理解は、幼稚園教育のあらゆる営みの基本となるものである。 幼稚園における幼児の生活や遊びの実態に即して、幼児の発達や学び及びその過程で生じるつまずき、その要因を把握するための原理や対応の方法を考察する。	(1)幼児理解についての知識を身につけ、考え方や基礎的態度を理解することができる。 (2)幼児理解の方法を具体的に理解することができる。			◎			
	EDE-271	初等国語科教育法	演習	2	2			○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。 小学校国語科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1)学習指導要領に示された国語科の目標や内容を理解することができる。 (2)基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につけている。				●		
	EDE-272	初等社会科教育法	演習	2	2			○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。 小学校社会科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1)学習指導要領に示された社会科の目標や内容を理解することができる。 (2)基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につけている。				●		
	EDE-273	算数科教育法	演習	2	2			○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。 小学校算数科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1)学習指導要領に示された算数科の目標や内容を理解することができる。 (2)基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につけている。				●		
	EDE-274	初等理科教育法	演習	2	2			○	理科教育学の基礎的領域とその動向と知見	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。 小学校理科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1)学習指導要領に示された理科の目標や内容を理解することができる。 (2)基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につけている。				●		
	EDE-275	生活科教育法	演習	2	2			○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。 小学校生活科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1)学習指導要領に示された生活科の目標や内容を理解することができる。 (2)基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につけている。				●		
	EDE-371	初等音楽科教育法	演習	2	2			○	小学校各学年に対応した音楽指導法と実践	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。 小学校音楽科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1)学習指導要領に示された音楽科の目標や内容を理解することができる。 (2)基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につけている。				●		
	EDE-276	図画工作科教育法	演習	2	2			○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。 小学校図画工作科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1)学習指導要領に示された図画工作科の目標や内容を理解することができる。 (2)基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につけている。				●		
	EDE-278	初等体育科教育法	演習	2	2			○	体育科の指導法を習得しよう	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。 小学校体育科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1)学習指導要領に示された体育科の目標や内容を理解することができる。 (2)基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につけている。				●		
	EDE-277	初等家庭科教育法	演習	2	2			○		教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。 小学校家庭科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。	(1)学習指導要領に示された小学校家庭科の目標や内容を理解することができる。 (2)基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につけている。				●		

授業科目の区分	カリキュラム分類コード	授業科目名	授業の方法	単位数・必修	学年	秋	春	サ	サブタイトル/テーマ	授業科目の主題 (授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標 (到達目標)	1.教育活動に必要な社会人としての素養、および教育者としての素養を併せて習得している。(知識・理解、態度)	2.幼児・児童の心身の発達、いじめの実態、教育相談、幼児・児童の指導、キャリア教育について理解し、公平かつ受容的・共感的な態度をもち、幼児・児童を理解し指導する力を身につけている。(知識・理解、態度)	3.特別な配慮を必要とする幼児・児童を理解し支援する力を身につけている。(技能)	4.幼稚園教育要領および学習指導要領の内容、授業を成立させるための要件、領域・教科の詳細等に関する専門的知識と共に関、授業における学習課題、主体的・対話的で深い学び、ICTの活用等を理解し、道徳教育の基本も踏まえた実践的指導力を身につけている。(知識・理解、技能)	5.学級経営を理解し、学年や学級を運営する力を身につけている。(思考・判断)	6.学校等の組織で協働や運営に主体的に関わり、安全管理を理解し、関係者の安心・安全を常に意識し対応する力を習得している。(思考・判断)			
																		単位数・必修	学年	秋
	EDE-372	初等外国語教育法	演習	2	2					教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。小学校における外国語活動(中学年)・外国語(高学年)の学習、指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身につける。	(1)小学校外国語教育に係る背景知識や主教材、小・中・高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解することができる。 (2)児童期の第二言語習得の特徴について理解することができる。 (3)実際の授業づくりに必要な知識・技術を身につけている。									
	EDE-221	道徳教育の理論と実践(初等)	講義	2	2					教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー4に基づく科目である。道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神を踏まえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する教育活動である。道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身につける。	(1)道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解することができる。 (2)学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法を理解することができる。									
	EDE-222	総合的な学習の時間の指導法(初等)	講義	2	2					教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー4に基づく科目である。総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通じて、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身につける。	(1)総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解することができる。 (2)総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身につけている。 (3)総合的な学習の時間の指導と評価の考え方および実践上の留意点を理解することができる。									
	EDE-321	特別活動論(初等)	講義	2	2					集団内における人間関係構築と自己の生き方の探求 教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー4に基づく科目である。特別活動は、学校における様々な構成の集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目標として様々な行われる活動の総体である。学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つとともに、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身につける。	(1)特別活動の意義、目標及び内容を理解し、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事の特質を理解している。 (2)教育課程全体で取り組む特別活動の指導のあり方を理解し、合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の意義や指導のあり方を例示することができる。									
	EDE-121	教育方法学(初等)	講義	2	1					現代初等教育に求められる教育方法の理論と実践 教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー4に基づく科目である。教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)では、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法、技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身につける。	(1)これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解することができる。 (2)教育の目的に適した指導技術を理解し、身につけている。 (3)情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身につけている。									
	EDE-223	ICT教育の理論と方法(初等)	演習	2	1					教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー6に基づく科目である。情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方並びに児童及び生徒に情報活用能力(情報モラルを含む。)を育成するための指導法に関する基礎的な知識・技能を身につける。	(1)情報通信技術の活用の意義と理論を理解することができる。 (2)情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について理解することができる。 (3)児童及び生徒に情報活用能力(情報モラルを含む。)を育成するための基礎的な指導法を身につけている。									
	EDE-322	生徒指導・教育相談(初等)	講義	2	2					教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー4に基づく科目である。生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じて行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身につける。教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。幼児、児童及び生徒の発達状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的な知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的な知識を含む)を学ぶ。	生徒指導 (1)生徒指導の意義や原理を理解することができる。 (2)すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解することができる。 (3)児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の態様と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解することができる。 教育相談 (1)学校における教育相談の意義と理論を理解することができる。 (2)教育相談を進める際に必要な基礎的な知識(カウンセリングに関する基礎的な事柄を含む)を理解することができる。 (3)教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取り組みや連携の必要性を理解することができる。									
	EDE-323	進路指導論(初等)	講義	2	2					教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー4に基づく科目である。進路指導は、児童及び生徒が自ら、将来の進路を選択・計画し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸長するように、教員が組織的・継続的に指導・援助する過程であり、長期的展望に立った人間形成を目指す教育活動である。それを包含するキャリア教育は、学校で学ぶことと社会との接続を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことを目的としている。進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身につける。	(1)進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解することができる。 (2)全ての児童及び生徒を対象とした進路指導・キャリア教育の考え方と指導の在り方を理解することができる。 (3)児童及び生徒が抱える個別の進路指導・キャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方と在り方を理解することができる。									
	EDE-332	小学校教育実習(事前事後指導を含む)	実習	5	2、4					教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー7に基づく科目である。小学校教諭一種免許状の取得を希望する学生、または、小学校教諭一種免許状と幼稚園教諭一種免許状の両方の取得を希望する学生を対象とする。本科目は、実習校における教育実習と、その事前指導・事後指導から構成される。事前指導では教育実習生に求められる心得や態度について学ぶだけでなく、模擬授業を通して教材研究・学習指導案づくり・授業展開などを実践的に学ぶ。教育実習では、基本的には3年次2週間、4年次2週間、実習校で観察実習・授業実習等を行う。事後指導では、各自の経験の報告・反省・討論を通して、その成果を検証・確認する。講義および模擬授業では、教科教育学の立場、現職経験の立場からそれぞれ指導・講評を行う。	(1)事前指導では教育実習生に求められる資質や態度を習得し、教育実習に対する自覚を高めることができる。また、模擬授業を通して教材研究・学習指導案づくり・授業展開の技能を身につけている。 (2)事後指導では、各自の経験の報告・反省・討論により、教職に対する展望をもつことができる。 (3)授業を成立させるための要件(学習課題、板書、発問等)を理解し、基礎的な技能(ICTの活用を含む)をもって指導することができる。 (4)教科等に関する専門的知識を有し、教材の内容を分析・解釈し、適切な授業準備をすることができる。									

授業科目の区分	カリキュラム分類コード	授業科目名	授業の方法	単位数・必修	単位数・選択	学年	春	秋	サブタイトル/テーマ	授業科目の主題 (授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標 (到達目標)	学修の到達目標とディプロマ・ポリシーの関連						
												1.教育活動に必要な社会人としての素養、および教育者としての素養を併せて習得している。(知識・理解、態度)	2.幼児・児童の心身の発達、いじめの実態、教育相談、幼児・児童の指導、キャリア教育について理解し、公平かつ受容的・共感的な態度をもち、幼児・児童を理解し指導する力を身につけている。(知識・理解、態度)	3.特別な配慮を必要とする幼児・児童を理解し支援する力を身につけている。(技能)	4.幼稚園教育要領および学習指導要領の内容、授業を成立させるための要件、領域・教科の詳細等に関する専門的知識と共に、授業における学習課題、主体的・対話的で深い学び、ICTの活用等を理解し、道徳教育の基本も踏まえた実践的指導力を身につけている。(知識・理解、技能)	5.学級経営を理解し、学年や学級を運営する力を身につけている。(思考・判断)	6.学校等の組織で協働や運営に主体的に関わり、安全管理を理解し、関係者の安心・安全を常に意識し対応する力を習得している。(思考・判断)	
	EDE-331	幼稚園教育実習(事前事後指導を含む)	実習	5	2	4	○		外部幼稚園での教育実習	教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー7に基づく科目である。 幼稚園教育実習とその事前・事後指導を含む授業である。事前指導としては、保育現場経験を有する教員が、実習記録の書き方・実習の手順・責任実習指導案の立案・模擬保育の講評を行う。実習では、参加実習・責任実習を通して幼稚園教諭の実際を理解し、必要な知識と技能を習得する。事後指導では、実習の振り返りと評価をまとめる。	(1)外部幼稚園における教育実習を行うための知識を深めることができる。 (2)実習のための模擬保育を通して、保育技術を向上させることができる。 (3)実習に向けての準備を意欲的に行うことができる。					●	◎	
	EDE-381	幼稚園教育の実際(幼小連携教育を含む)	演習	2	3		○			教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー7に基づく科目である。 高度専門職としての幼稚園教員には、指導力、幼児を理解し援助する力、学級を運営する力、園運営に関する力が求められる。幼小連携の視点をも踏まえた幼稚園教育の実例に基づき、教員に求められる資質・能力および園・学級経営の具体像を学びながら、将来の教育実践に必要な能力を身につける。	(1)幼稚園教育の実際及び幼小連携教育の概要について学び、理解することができる。 (2)幼稚園教育における行事と小学校教育への接続との関連性を理解し、自らの考えを説明することができる。 (3)幼稚園教育に取り組むための、高い技能と実践力を身につけている。					◎	●	
	EDE-333	教職実践演習(幼小)	演習	2	4		○			教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー7に基づく科目である。 教職実践演習は、教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身につけた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかを確認する「学びの軌跡の集大成」として位置付けられるものである。 特に、 1.使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 2.社会性や対人関係能力に関する事項 3.幼児児童理解や学級経営等に関する事項 4.教科・保育内容等の指導力に関する事項 の4つの事項を含む。 これらの事項について、役割演技(ロールプレイング)、事例研究、現地調査(フィールドワーク)、模擬保育・模擬授業等による学びを通して、幼稚園教員・小学校教員に必要な能力を身につける。	(1)将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚でき、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートすることができる。 (2)幼稚園での指導に必要な要件(環境の構成、保育技術等)または授業を成立させるための要件(学習課題、板書、発問等)を理解し、基礎的な技能(ICTの活用を含む)をもって指導することができる。 (3)学校組織の特徴や協働する意義を理解することができる。また、大学等におけるサークルや団体活動等の運営に主体的に関わることができる。 (4)安全管理に関する基礎的知識をもち、子供の安心・安全を常に意識し、対応することができる。					◎	●	
卒業研究	THS-201	ゼミナール I	演習	2	3		○			教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー8に基づく科目である。 「ゼミナールⅠ」「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の成果物といえる卒業論文、あるいは科目としての「ゼミナールⅠ・Ⅱ」「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」は、教育学科初等教育コースカリキュラム・ポリシーに添った教育学の学びで学生が身につけた資質・能力が有機的に統合され形成されたかについて、ディプロマ・ポリシーに照らして最終的に確認する科目である。 学生自身の資料収集・分析、実験、討論を重視しつつ、教員による個別指導・集団指導を通して、全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」を図る。	(1)教育活動を担うに当たり必要となる基本的資質・素養および高度専門職としての教育者に求められる力量を身につけている。 (2)教育をめぐる現代的課題を理解し、教育に関する十分な知識と技能に基づき解決策を見出すことができる。 (3)学校等の組織で協働や運営に主体的に関わり、安全管理を理解し、関係者の安心・安全を常に意識し対応する力を身につけている。 (4)新規性・独自性と客観性・正確性に関する知識・技能を習得し、それを文章・口頭で表現できる。							●
	THS-202	ゼミナール II	演習	2	3		○			教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー8に基づく科目である。 「ゼミナールⅠ」「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の成果物といえる卒業論文、あるいは科目としての「ゼミナールⅠ・Ⅱ」「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」は、教育学科初等教育コースカリキュラム・ポリシーに添った教育学の学びで学生が身につけた資質・能力が有機的に統合され形成されたかについて、ディプロマ・ポリシーに照らして最終的に確認する科目である。 学生自身の資料収集・分析、実験、討論を重視しつつ、教員による個別指導・集団指導を通して、全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」を図る。	(1)教育活動を担うに当たり必要となる基本的資質・素養および高度専門職としての教育者に求められる力量を身につけている。 (2)教育をめぐる現代的課題を理解し、教育に関する十分な知識と技能に基づき解決策を見出すことができる。 (3)学校等の組織で協働や運営に主体的に関わり、安全管理を理解し、関係者の安心・安全を常に意識し対応する力を身につけている。 (4)新規性・独自性と客観性・正確性に関する知識・技能を習得し、それを文章・口頭で表現できる。							●
	THS-301	卒業論文 I	演習	2	4		○			教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー8に基づく科目である。 「ゼミナールⅠ」「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の成果物といえる卒業論文、あるいは科目としての「ゼミナールⅠ・Ⅱ」「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」は、教育学科初等教育コースカリキュラム・ポリシーに添った教育学の学びで学生が身につけた資質・能力が有機的に統合され形成されたかについて、ディプロマ・ポリシーに照らして最終的に確認する科目である。 学生自身の資料収集・分析、実験、討論を重視しつつ、教員による個別指導・集団指導を通して、全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」を図る。	(1)教育活動を担うに当たり必要となる基本的資質・素養および高度専門職としての教育者に求められる力量を身につけている。 (2)教育をめぐる現代的課題を理解し、教育に関する十分な知識と技能に基づき解決策を見出すことができる。 (3)学校等の組織で協働や運営に主体的に関わり、安全管理を理解し、関係者の安心・安全を常に意識し対応する力を身につけている。 (4)新規性・独自性と客観性・正確性に関する知識・技能を習得し、それを文章・口頭で表現できる。							●
	THS-302	卒業論文 II	演習	4	4		○			教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシー8に基づく科目である。 「ゼミナールⅠ」「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の成果物といえる卒業論文、あるいは科目としての「ゼミナールⅠ・Ⅱ」「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」は、教育学科初等教育コースカリキュラム・ポリシーに添った教育学の学びで学生が身につけた資質・能力が有機的に統合され形成されたかについて、ディプロマ・ポリシーに照らして最終的に確認する科目である。 学生自身の資料収集・分析、実験、討論を重視しつつ、教員による個別指導・集団指導を通して、全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」を図る。	(1)教育活動を担うに当たり必要となる基本的資質・素養および高度専門職としての教育者に求められる力量を身につけている。 (2)教育をめぐる現代的課題を理解し、教育に関する十分な知識と技能に基づき解決策を見出すことができる。 (3)学校等の組織で協働や運営に主体的に関わり、安全管理を理解し、関係者の安心・安全を常に意識し対応する力を身につけている。 (4)新規性・独自性と客観性・正確性に関する知識・技能を習得し、それを文章・口頭で表現できる。							●

2021年度以前入学生カリキュラム 常盤大学 人間科学部 教育学科 初等教育コース 履修系統図

	EDE-122	教育方法学Ⅱ(初等)	演習	2	2		○			「学習科学」とその実践的活用に向けて カリキュラム・ポリシーにもとづき、教育に携わるものに求められる教育方法学について学ぶ。 現代の教育方法学の基礎にある「学習の科学」の多様な知見を学び、その授業づくりとしての実践的活用について学ぶ。受講生各自が関心ある「学習科学」の理論を取り上げ報告し、討論するなどアクティブラーニングを基調に学ぶとともに、授業づくり・教育方法に関する小論文を作成する。	社会人あるいは教員として、教育方法学について以下の資質・能力の育成に寄与することを目指している。 (1)「学習科学」の諸理論を理解する。 (2)「学習科学」を踏まえた授業づくりの視点を理解する。 (3)授業づくり・教育方法について小論文を作成できる。							●
	EDC-111	教職入門	講義	2	1	2	○			カリキュラム・ポリシーに基づき、教員という職が誕生した歴史的・社会的背景、教員の養成・採用・研修をめぐる現代的動向といった教職を取り巻く政策的・制度的状況、教職の意義およびその役割と職務内容等、教育の基礎的理解に関する内容について講義する。また、現代の学校や教員が直面している具体的な課題について受講生自身が主体的に考え、表現する機会を通じて、自身の教職への適性を省察し、その後の進路選択に資する基礎的能力の育成を目指す。	(1)幼稚園および小学校の教員免許状取得を目指す学生が、教職の特徴について歴史的、制度的、実践的な観点から考察・理解を深めるとともに、学校教育に関する法令等と学校の役割、学校組織の特徴や協働の重要性、子供の安心・安全の確保に向けた取組の実際などを理解し、状況に応じた教員の対応に関心をもつことができるようになる。また、教職に対する自身の適性についての省察により、社会人として備えておくべきマナーをもつての行動や大学等におけるサークルや団体活動等の運営に主体的に関わることの必要性を認識し、教員として必要となる素養を身に付けることができるようになることを目的とする。							●

授業科目の区分	カリキュラム分類コード	授業科目名	授業の方法	単位数・必修	単位数・選択	学年	秋	春	サ	サブタイトル/テーマ	授業科目の主題 (授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標 (到達目標)	1.教育活動に必要な社会人としての素養、および教育者としての素養を併せて習得している。(知識・理解、態度)	2.幼児・児童の心身の発達、いじめの実態、教育相談、幼児・児童の指導、キャリア教育について理解し、公平かつ受容的・共感的な態度をもち、幼児・児童を理解し指導する力を身につけている。(知識・理解、態度)	3.特別な配慮を必要とする幼児・児童を理解し支援する力を身につけている。(技能)	4.幼稚園教育要領および学習指導要領の内容、授業を成立させるための要件、領域・教科の詳細等に、授業における学習課題、主体的・対話的で深い学び、ICTの活用等を理解し、道徳教育の基本も踏まえた実践的指導力を身につけている。(知識・理解、技能)	5.学級経営を理解し、学年や学級を運営する力を身につけている。(思考・判断)	6.学校等の組織で協働や運営に主体的に関わり、安全管理を理解し、関係者の安心・安全を常に意識し対応する力を習得している。(思考・判断)		
	EDC-112	教育学概論	講義	2	1					教育学の基礎と理論	カリキュラム・ポリシーにもとづき、教育に携わるものに求められる教育という営みの本質、その歴史と思想、制度と経営、教育の目的、内容、方法の基礎と現代的動向について基礎的多面的に学ぶ。	直接的には教育学の各領域の基礎的事項について理解し、説明することができる。またそれを踏まえて、社会人として、あるいは教員として以下のような資質・能力の育成に寄与することを目指す。 【社会人として】 (1)人間性が豊かで、言葉遣い、挨拶、礼儀等の備えておくべきマナーをもって行動することができる。 (2)人権に関する知的理解があり、人権感覚を持って行動することができる。 (3)常にコンプライアンスを意識して行動することができる。 (4)コミュニケーション力を生かし対人関係を構築することができる。 (5)ストレスと身体の健康を適切に自己管理することができる。 (6)多様な文化の生活・習慣・価値観を尊重することができる。 【教員として】 (1)子供が好きで、子供とともに考え、子供の気持ちを理解することができる。 (2)自己の現状と課題を知り、他の教員の指導や意見に耳を傾け、学び続けることができる。 (3)保護者や地域の声に耳を傾け、誠実に対応することができる。 (4)学校教育に関する法令等と学校の役割を理解することができる。								
	EDC-114	学校と教育の歴史	講義	2		1・2・3・4				幕末維新期、日本は欧米列強からの圧力を受けて、国民国家の建設を急速に推し進める。従来の人間形成のあり方とは異なる「教育」という営みは、近代化が進化するこの時期に成立する。そして19世紀に制度化された教育システムは、20世紀における二つの世界大戦を経て、現代的なものへ改編されていく。本講義では、「教育」と「学校」が成立、展開していく過程を、関連する制度の動向とともに概説する。それを通じて、学生は自身の経験を省察し、多面的に考える視点を身につける。 全部の授業においてオンデマンド型の遠隔授業を実施する。授業に対する学生の取り組み状況については、授業ごとに提出を求める課題の状況から把握する。担当教員から受講者への連絡、受講者から担当教員への相談などは、基本的にGoogle ClassroomなどのLearning Management Systemを活用する。	(1)「教育」と「学校」が成立、展開していく過程を、その背景とともに的確に理解し、論理的に説明することができる。 (2)現代の「教育」や「学校」について、歴史的な省察を通じて多面的に思考し、自分の考えを他者に対して述べることができる。									
	EDC-115	教育心理学	講義	2		1・2・3・4				カリキュラム・ポリシーにある「幼児、児童、生徒の成長と発達」の深い理解のために、心身の発達及び学習の過程に関わる基礎的な内容を学習する。乳幼児期から青年期にわたる発達の過程の理解、学習の諸側面の理解、社会・集団の心理学の理解は重要になってくる。さらには、定型発達と発達障害と合わせて発達障害の理解も必要である。このように、発達心理学、学習心理学、社会・集団心理学、臨床心理学の理論を修得することによって、効果的な学習指導や生徒指導実践の前提として、適切な発達観、児童生徒観、学習指導観を涵養することとしたい。	(1)乳幼児期、児童期、青年期の発達の特徴を説明することができる。 (2)学習、記憶、動機づけに関わる基本的内容を理解することができる。 (3)児童生徒理解のための心理学的方法を理解することができる。 (4)集団に関わる心理学的知見を理解することができる。 (5)発達障害の特徴とその心理的支援の方法について理解することができる。さらに茨城県教育委員会「茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標」に対応した教育心理学の目標を加える。 (6)子供の心身の発達に関する知識があり、子供の理解に生かすことができる。 (7)法で示すいじめの定義及びいじめはどの子供にも、どの学校でも、起こりうる、ということを理解することができる。									
	EDC-116	教育経営論	講義	2		2・3・4				公教育の法制度・行政・経営の仕組み	カリキュラム・ポリシーにもとづき、以下の内容で行う。すなわち、学校教育制度と教育委員会制度の基本的な理解を中心としながら、学校経営及び教師の抱える諸課題について考えることを通じて、「開かれた学校」としての学校教育を全体像として探究することを目的とする。また、教育法規の構造や教育制度の歴史について資料等で確認し、基本的な知識を得るとともに、ビデオ(教育・学校改革等)を見て、受講者のなかで共通認識をつくる時間も設ける。	(1)わが国の教育制度の基本的な内容を理解することができる。 (2)教育委員会や学校における具体的な内容を通して、教育制度を理解できる。 (3)教育制度を固定的に捉えるのではなく、その起こりや変容に着目できる。 (4)学校の組織や経営に関して理解を深めることができる。 (5)学校組織の特徴や協働する意義を理解することができる。 (6)大学等におけるサークルや団体活動等の運営に主体的に関わることができる。								
	EDC-117	教育社会学	講義	2		1・2・3・4				教育学科初等教育コース初等教育コースのカリキュラム・ポリシーおよび「教職課程コアカリキュラム」に基づき、教育活動を担うにあたり必要となる基本的資質・素養および高度専門職としての教育者に求められる力量を身につけることを目的として、現代の教育に関する社会的・制度的状況およびその課題について検討するとともに、地域と学校の連携・協働、学校安全・安全教育的あり方について検討します。	茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標」に基づき、 (1)社会の状況およびその変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる課題並びにそれに対応するための教育政策の動向について理解し、考察することができる。 (2)現代公教育制度の意義・原理・構造にかんし、その法的・制度的仕組みに関する基礎的知識を身につけるとともにそこに内在する課題について理解し、考察することができる。 (3)学校組織の特徴や協働する意義を理解することができる。 (4)大学等におけるサークルや団体活動等の運営に主体的に関わることができる。 (5)安全管理に関する基礎的知識をもち、子どもの安心・安全を常に意識し、対応することができる。 ことを目標とします。									
	EDE-223	初等外国語の研究	演習	2	1					小学校では、中学年(3・4年生)において外国語活動が、高学年(5・6年生)において教科としての外国語科が実施されている。本授業では、英語に関する基礎的な知識(音声、文及び文構造、語彙、正書法)及び第二言語習得論、児童文学、異文化理解に関する背景知識について学び、小学校での外国語活動・外国語科の指導に必要な、4技能5領域(聞く、話す[やり取り・発表]、読む、書く)の基礎的な運用力を身につけることを目的とする。また、教材分析や指導に関する知識を身につけ、基本的な教授の知識・技能を身につけることを目指す。	(1)小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な基本的な英語表現等を、実際の授業場面を意識しながら運用することができる。 (2)小学校における外国語活動・外国語科を担当するために必要な英語に関する基礎的な知識(音声、文及び文構造、語彙、正書法)及び第二言語習得論、児童文学、異文化理解に関する背景知識を理解し、説明することができる。 (3)教材の分析・解釈や、適切な教授方法(学習課題、板書、発問等)を理解した上で、授業準備をすることができる。									
	EDE-241	保育内容総論	講義	2	2					幼児教育・保育の基礎を理解する	本授業は幼稚園免許を取得する学生が1年次春 semester に履修する科目である。幼児教育・保育の基本的な考え方について15のテーマを学ぶ。また、授業は毎回グループワークが取り入れられ、発表するといったスタイルで展開される。なお、本授業は教育学科初等教育コースのカリキュラム・ポリシーにおける「教育の基礎的理解を身につける」といった内容に関連している。	(1)幼児教育・保育の基礎的なテーマについて理解することができる。 (2)幼児教育・保育の基礎的なテーマについてグループ討議の中で自らの考えを説明することができる。								

授業科目の区分	カリキュラム分類コード	授業科目名	授業の方法	単位数・必修	学年	学期	サブタイトル/テーマ	授業科目の主題 (授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標 (到達目標)	1.教育活動に必要な社会人としての素養、および教育者としての素養を併せて習得している。(知識・理解、態度)	2.幼児・児童の心身の発達、いじめの実態、教育相談、幼児・児童の指導、キャリア教育について理解し、公平かつ受容的・共感的な態度をもち、幼児・児童を理解し指導する力を身につけている。(知識・理解、態度)	3.特別な配慮を必要とする幼児・児童を理解し支援する力を身につけている。(技能)	4.幼稚園教育要領および学習指導要領の内容、授業を成立させるための要件、領域・教科の詳細等に関する専門的知識と共に、授業における学習課題、主体的・対話的で深い学び、ICTの活用等を理解し、道徳教育の基本も踏まえた実践的指導力を身につけている。(知識・理解、技能)	5.学級経営を理解し、学年や学級を運営する力を身につけている。(思考・判断)	6.学校等の組織で協働や運営に主体的に関わり、安全管理を理解し、関係者の安心・安全を常に意識し対応する力を習得している。(思考・判断)		
	EDE-237	初等図画工作教育法	演習	2	2・3・4			図画工作科は、豊かな情操と感性を育む教育です。この学習の意味をよく理解し、カリキュラムポリシーにもとづき、造形表現の知識と方法を深く学びます。授業では、図画工作科の学習指導要領を読み、学びの重要な目的や目標、学習内容を確認します。次に、児童が造形表現活動を積極的な態度で臨めるように、学習環境の整備、授業形態の選択について、講義と実技から具体的に学びます。これらをふまえ、グループで指導案を作成し、模擬授業を行います。授業後にはディスカッションを行います。最終課題として、模擬授業を省察し実践報告書を作成します。	(1)学習指導要領で示された初等教育における図画工作の学習の目標をよく理解できる。 (2)子どもの発達と教育環境の整備について配慮し、授業運営において、個々の表現、試行を促す働きかけを行い、ディプロマ・ポリシーにもとづき実践的な指導案づくりができる。 (3)授業を成立させるための要件(学習課題、板書、発問等)を理解し、基礎的な技能をもって指導することができる。 (4)教科等に関する専門的知識を有し、教材の内容を分析・解釈し、適切な授業準備をすることができる。 (5)学習課題の設定や探求的なプロセスの重要性を理解し、指導に生かすことができる。 (6)主体的・対話的で深い学びの重要性を理解し、授業を実践することができる。 (7)ICTの活用方法を理解し、表現教育の活動に生かすことができる。								
	EDE-121	教育方法学 I (初等)	講義	2	2・3・4			現代初等教育に求められる教育方法の理論と実践	カリキュラム・ポリシーにもとづき、教育に携わるもの、これからの社会をにう児童に求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法・技術・情報機器・教材の活用等に関する基礎的な知識と技能を身につけるために、教育方法の基礎理論、新学習指導要領における教育方法改善の視点、現代の教授・学習論、教育評価論、ICTの活用、学習指導案の作成に関する最新の理論とその活用について、アクティブラーニングを基調に学ぶ。	社会人あるいは教員として、教育方法学について以下の資質・能力の育成に寄与することを目指す。 (1)初等教育をにう教師として必要不可欠な教育方法の基礎理論と実践を理解する。 (2)新学習指導要領で強調されている授業改善の視点:「主体的・対話的で深い学び」の在り方を理解し・実践する技能を習得する。 (3)学習評価の理論と手法、ICTの活用の最新の理論と手法を習得する。 (4)教育方法に関連した初等教員採用試験対策にもなり得る知識と技能を習得する。							
	EDE-112	生徒指導論(初等)	講義	2	2・3・4			現代の社会は、あらゆる社会通念・社会構造が解体・流動化しつつある「後期近代」の時代に突入しており、とりわけ生徒指導や教育相談の文脈においては児童生徒の特性や背景情報などを適切に把握し、丁寧な対応を施す必要性が格段に高まってきている。そこでこの授業では、始めに生徒指導や教育相談の重要性や原理を確認し、適切な理解と配慮が求められる各教育的事象について取り上げていく。そして、複雑化する教育現場において教師に求められる役割や、対応の方策を併せて紹介・検討していく。	(1)学校における生徒指導上の課題を理解することができる。 (2)公平かつ受容的・共感的な態度で子供と関わるができる。 (3)教育相談の意義、基本的な理論や技法を理解することができる。 (4)それぞれの児童生徒が有する特性や課題などを適切に把握し、丁寧な対応・配慮をおこなうことができる。 (5)教育現場にて求められる教師の役割や、生徒指導の方策を考察することができる。								
	EDE-114	教育相談(初等)	講義	2	2・3・4			教育相談は、一人ひとりの児童の教育上の問題について、本人又はその親などに、その望ましいあり方を助言することである。その方法としては、1対1の相談活動に限定することなく、すべての教師が児童に接するあらゆる機会をとらえ、あらゆる教育活動の実践の中に生かし、教育相談的な配慮をすることが大切である。授業では、カリキュラムポリシーにおける、教育の実践的指導力などの高度な資質と能力に関わる内容を扱い、教育相談の基礎的内容として、教育相談の意義と学校における教育相談体制、児童生徒理解のための発達心理学及び臨床心理学の知見を講義する。また、教育相談のための基礎的面接技法や授業を通しての教育相談の実践技法について、グループワークと演習・実習を通して学ぶ。さらに教育相談の事例をディスカッション、グループワークを通して学ぶ。	(1)教育相談の意義、内容、方法を説明することができる。 (2)児童生徒を理解するための基礎知識として、児童期青年期の発達の特徴を説明することができる。 (3)教育相談の基本的技法を理解し、遂行することができるようになる。								
	EDE-243	保育内容指導法(運動)	演習	2	2・3・4			幼児期に行う運動遊びの代表的なものを取り上げ、それらを実践する中で年齢や危険に配慮してどのように環境設定をしていくのかを考える。また、子どもに運動遊びを促すためにもそれらの遊びを教示できるように進める。	(1)幼児期に行われる運動遊び技能を示範できる。 (2)発達段階、小型遊具の環境設定、危機回避について配慮して幼児の運動指導が出来る。								